

平成27年第4回定例教育委員会

平成27年4月24日(金) 午後2時2分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員長	長谷川	清	明	説明員	教育部長	齊	藤	俊	彦		
	委員	上	野	聡		志	教育部次長	渡	部	丈	司	
	委員	郷		早		見	学校教育支援室長					
	委員	橋	本	幸		子			伊	藤	忠	信
	教育長	月	田	健		二	総務課長		大	村	勇	二
							総務課参事		錦	戸	康	成

欠席者

記録員

傍聴者

1 一般報告

(1) 平成27年度江別市学校教育の推進にあたって

2 報告事項

(1) 平成27年度学校選択制にかかる入学状況について

(2) 大麻体育館敷地内施設灯の倒壊による物損事故について

3 審議事項

平成27年議案第18号

江別市スポーツ推進委員の委嘱について

平成27年議案第19号

江別市一般会計補正予算について

4 その他

○各課所管事項について

(1) 江別市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の改選について

(2) 江別市教育支援委員会委員の改選について

(3) 江別市社会教育委員の補欠委員の委嘱について

(4) 江別市スポーツ推進審議会委員の改選について

(5) 江別市文化財保護委員会委員の補欠委員の委嘱について

○次回教育委員会予定案件について

○平成27年第5回定例教育委員会の日程について

会 議 録

長谷川委員長	<p>(開会)</p> <p>それでは、ただいまから、「平成27年第4回定例教育委員会」を開会いたします。</p> <p>本日の議事日程は配付のとおりであります。会議に先立ち、本日の会議録署名人を橋本委員さんをお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p>
月田教育長	<p>1の一般報告(1)「平成27年度江別市学校教育の推進にあたって」について報告を求めます。月田教育長お願いします。</p> <p>それでは、平成27年度の「学校教育の推進にあたって」を説明いたします。</p> <p>平成25年度に5か年を見通した江別市学校教育基本計画を策定いたしました。昨年度一年間、この方針に基づいて、学校教育を実践したところであります。</p> <p>その中心となるのが、基本理念「心豊かに学び ともに未来のふるさとを拓く 子どもの育成」でありました。さらに目指す子ども像は、「夢を持ち、夢を語り、夢の実現に向けて行動する子ども」です。子どもは、やはり豊かな人間性を備えているというように考えています。</p> <p>そして、豊かな人間性に満ちた子どもというのは、「善き意志」「思慮、知性」「豊かな情操」「知識・技能」「健康な心や体」を備えた子どもであると思っています。</p> <p>昨年度の江別市の学校教育の現状であります。学力調査等の学校質問紙によりますと、「授業中の私語が少なく落ち着いていると思う」と回答した先生方の割合は、小学校で63.2%、中学校で100%です。</p> <p>また、「礼儀正しいと思う」と回答した先生方の割合は、小学校で47.4%、中学校で87.5%というように驚異的な数字となっております。</p> <p>2ページに進みます。</p> <p>当然ながら非常に落ち着いているということもあって、学力は小学校では全国とだいたい同様ですし、中学校では全国以上になっているということで、大変嬉しい事であると思えます。</p> <p>学力向上のノウハウをつかんだ学校は、児童生徒が変わり、教師が変わっても、変らぬ結果を残しつつあります。</p> <p>ただ、課題もありまして、子ども達の自己肯定感が、やや全国より劣っているということですが、その数字にありますように、2.5ポイントとか1.8ポイントとか、全国と比べてちょっと低いというぐらいで、ほとんど全国並みになってきました。これをさらに全国以上に高めるように校長先生方をお願いしているところです。</p> <p>さて、小中校の学習指導要領の全面改定を昨年11月20日に文部科学省が中央教育審議会に諮問しました。</p> <p>今回の改定は小学校高学年での英語の教科化、小中学校での道徳の教科化、高校での日本史の必修などの他に、授業の仕方にも改善の力点が置かれています。授業の仕方については、今までの先生から授かる「受け身の知識量」から子どもたち自身が「知識を使って自ら何ができるか」という「主体性」「課題解決力」を重視する授業への転換を打ち出しています。</p> <p>それは、今の子どもたちが大人になったとき、今の職業の65%は無いのではないかと、新しい職業に就かなければならないのではないかと、といったことから、このようなことが言われています。</p> <p>3ページに進みます。</p> <p>その授業の仕方は、「アクティブ・ラーニング」という児童生徒同士や教師が議論しながら解決策を探る授業です。簡単に言えば、「知る」「考える」「行動する」というような授業になるかと思えます。</p> <p>世界中で今、大人になったときに、どのような能力が必要になるかということが検討されていますが、「21世紀型スキル」という能力が非常に注目されており、そうした能力をつけていかなければならないと言われております。</p> <p>4ページに進みます。</p> <p>まず、『笑顔あふれる学校』を目指してですが、これは、各学校でそれぞれ課題があると思えますが、その課題を強い意志を持って解決してもらいたいということです。</p> <p>次に『夢を語れる』児童・生徒の育成については、学校に多様な教育内容や活動を意図的、計画的に用意してもらいたい、そして、子どもたちに成功体験だけでなく、失敗体験もさせてもらいたいと考えています。また、たまには小さな成就感を味わわせること</p>

<p>月田教育長</p>	<p>が必要ではないかと思っています。</p> <p>5 ページの「江別の学校づくりに期待すること」ですが、まずは、学校づくりとして、自校のイメージを教職員全員が共有することです。例えば、「学校とは、静かで、清潔で、できなかったことができるようになる所」でなければなりません、それらを皆で共有することが大事ではないかと思っています。</p> <p>6 ページに進みます。</p> <p>また、2 番目として、教師が子どもたちに指導するには、「絶対にさせるもの」いわゆる、しつけを定着させることが必要ではないかと思っています。しつけは、がみがみ言っても絶対に子どもたちに定着しませんので、根気強い努力や忍耐が必要です。その努力の上に教師としての楽しさや喜びがあると思っています。</p> <p>それから、3 番目は、学校づくりとして、支持的風土の学級づくりを実践してもらいたいということです。</p> <p>これには、「Q-Uテスト」など科学的なものもいろいろ出ていて、各学校で実施されていますが、最終的には「思いやり」をキーワードに授業を進めることが重要ではないかと考えており、先生方には、そのことを求めていきたいと思っています。</p> <p>4 番目は、学校づくりとして、攻めの教育を実践することで、子どもたちをその気にさせる教育実践をしてもらいたいと思っています。</p> <p>5 番目は、先ほどもありましたが、「21世紀型スキル」いわゆる、「他者と協働して価値の創造に挑み、未来を切り開いていく力」を子どもたちにつけていきたいということです。それには、小中学校の時から少しずつこの能力を付けておく必要があります、そのためには、教師の学びへの関わり方自体が変わってきます。</p> <p>8 ページへ進みます。</p> <p>今まで教師は、いかに上手く説明するか、子どもたちをいかに教師側に向けさせるかが中心となっていました。これからは教師の立ち位置が変わってきて、ファシリテーターとしての役割も教師は持っていなければなりません。児童生徒の意欲を引き出す問いかけですとか、グループやチームの力を引き出すことができる能力がこれからの教師には必要になってくると思います。</p> <p>6 番目には、予防的生徒指導を実践することです。</p> <p>インターネットとかスマートフォンがいろいろな事件で問題となっています。また、それとともに、大麻や危険ドラッグなどの薬物についても大変な状態となっていますので、そうしたことをきちんと教えていく必要があります。</p> <p>また、小学校では素直さを残す教育ですとか、中学校では、情報の共有ということが非常に必要となります。そして、生徒指導で一番大事なのは、あいさつの徹底を実施してもらうことであると思っています。</p> <p>7 番目は、体力、運動能力の向上です。</p> <p>体育の時間に、様々な運動を少しでもできるようにすることが、体力向上に近づくこととなります。できる喜びを、是非、子どもたちに味あわせてもらいたいと思っています。</p> <p>また、学校全体で日課、週間、月間、年間を見通して、教育課程の中に体力向上、運動能力向上の機会を作る必要があります。</p> <p>8 番目は特別支援教育の充実です。</p> <p>特別支援が必要な子どもたちを普通学級の子どもたちに近づけるのではなく、「子どもを中心に据えた教育」を目指し、こちら側が変わらなければならないのではないかと思います。まず、学校全体で、子どもたちの支えあいが当たり前の社会を作っていく必要があると考えています。</p> <p>9 番目は学力向上です。</p> <p>各学校には学力向上策の蓄積がありますので、それを元に実践してもらいたいと思います。市教育委員会では今までのように人的支援や学校改善支援プランの作成などで各学校を支援していきます。</p> <p>江別市の子どもたちは、学力向上だけではなく、運動も非常に盛んで、非常にありがたいと思っています。これをさらに続けていきたいと思っていますので、よろしく願います。</p>
<p>長谷川委員長 長谷川委員長 月田教育長</p>	<p>本件に対する質問等はありませんか。</p> <p>この件について、各学校に対する周知徹底はどのような形で行ったのでしょうか。</p> <p>まず、今までいた校長先生、教頭先生につきましては、1月にこの話をしました。新しく来た校長先生、教頭先生については、4月14日に1時間以上に渡ってこの話をしまし</p>

<p>月田教育長 長谷川委員長 上野委員</p>	<p>た。 わかりました。他に質問等ありませんか。 アクティブ・ラーニングについては、グループディスカッションやディベート、グループワークなどいろいろな方法があるかと思いますが、中学生などでディベートのような授業は今まで行っているのでしょうか。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>実は、アクティブ・ラーニングに似たような授業はすでに組まれておりまして、昨年、石教研の学校課題発表会が野幌中学校で行われたのですが、その授業は、ほとんどアクティブ・ラーニングそのものといった授業でした。 すでに各学校では実践されていると思って差し支えないです。</p>
<p>上野委員</p>	<p>特に立命館慶祥中学校では、こういった授業に特化していると思うので、市内中学校の先生に立命館慶祥中学校の授業を見に行かせたいと思っています。 私は、以前、青年会議所でディベートを肯定派、否定派に分かれて行ったことがあります。勝つにはどうしたら良いのかと、自分たちでたくさん調べました。 こうしたことが、子どもたちにも、良いのではないかと思います。 総合学習のときに、クラスでチームに分かれて論争してみるなど、ゲーム的な感覚でやってみようと思っております。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>ディベートの際は、勝手に言うのではなくて、資料を読み取って、それをグループの中で考えて発表するといった、資料に基づいた発表になるように、先生は子どもたちを誘導していかなければならない、それこそファシリテーターとしての役割をしなければならないと思っています。</p>
<p>長谷川委員長</p>	<p>他に質問等ありませんか。 ないようであれば、本報告については終了してよろしいですか。 (一同了承)</p>
<p>金子学校教育課長</p>	<p>次に、2の報告事項(1)「平成27年度学校選択制にかかる入学状況について」の報告を求めます。金子学校教育課長お願いします。 説明の前に資料の数値の訂正があります。下の方の江別第三中学校の③の数値ですが、異動減が10人となっておりますが、そこを11人と訂正させていただきます。それとすぐ下の野幌中学校の異動減が12人となっておりますが、ここは異動減11人と訂正させていただきます。 申し訳ありませんが、よろしくお願い致します。 それでは、報告事項(1)平成27年度学校選択制にかかる入学状況について、ご報告いたします。 学校選択制につきましては、平成27年度の小中学校入学者の保護者に対し、平成26年8月22日に書類の配布を行い、10月15日から11月14日まで選択希望の申請を受け付けた後、申し込みの変更の受け付けを行っております。 選択希望者は、全て各校の受入れ枠以下の人数であったため、12月8日に、全員に決定通知を出しております。 その後、転入や転居などに伴う変更があり、この4月1日で入学者が確定したところです。 資料をご覧ください。 まず資料の見方ですが、表の左側から4番目、②は27年度における、選択制によるその学校への入学希望者数です。その二つ右の③は逆に選択制によりその校区から他の学校を希望した児童生徒数です。 一番右側の「②の内訳」は、どの校区から何人がその学校を選択したかを記載しております。例えば上から2行目の、江別第二小学校ですと、選択入学者数は5人で、その内訳は、東野幌小学校区から1人、中央小学校区から3人、大麻泉小学校区から1人が江別第二小学校を希望したということを表しています。 表の左から2番目の①当初校区内の入学者数は4月1日現在の人数で、選択制に伴う人数の増減を加味したものが表の右側から3番目「新1年生の入学者数」となっておりまして、その人数を基に算出したクラス数が、右側から2番目の「学級数」となります。 次に、本年度の学校選択制による入学者につきましては、小学校は51名、中学校は69名、全体では120名で、平成26年度の123名と比較して3名の減となりました。 入学者総数に占める割合は、小学校で5.88%、中学校で6.71%、全体では6.33%です。 なお、希望者の多かった学校は、小学校では、大麻小学校が11名、次いで、中央小学</p>

長谷川委員長	校が7名であり、中学校では、江別第一中学校が20名、次いで大麻中学校が15名となっております。以上です。
橋本委員	ただいま報告のありました「平成27年度学校選択制にかかる入学状況について」質問等がございましたらお願いします。
金子学校教育課長	前に、江別市に転勤してきた人に選択制のことが伝わっていないという話を聞いたことがあるのですが、今は、転勤してきた人に選択制のことは伝わっていますか。
長谷川委員長	転入などで江別に引っ越してきたというケースについても、年度末までに申請を受け付けて学校選択制を利用できるように周知しております。
上野委員	他に質問等いかがでしょうか。
金子学校教育課長	今回、角山小学校は新1年生が0人ということですが、今後の新1年生の入学についてはどのような状況でしょうか。
長谷川委員長	昨年の夏ごろに角山小学校の校区の住民登録の状況を確認したところ、その時点では来年度の入学予定者数は0人となっております。その後の年度で、何人かいるということは確認しましたが、昨年の夏以降の転入状況を確認しておりませんので、現状では不明です。以上です。
長谷川委員長	他は質問等いかがでしょうか。
齊藤教育部長	ないようであれば、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承) 次に、報告事項(2)「大麻体育館敷地内施設灯の倒壊による物損事故について」の報告を求めます。齊藤教育部長お願いします。
岩淵生涯学習課長	担当課からご報告申し上げる前に、私から発言させていただきます。 この度、大麻体育館敷地内において施設灯が倒れ、駐車場に停めていた車両の一部に損害を与える事故が発生し、所管する部署として深くお詫び申し上げます。 今後、このような事故を再び起こさぬよう、総務部から全庁的な注意喚起の通知が行われたほか、教育部といたしましても、学校及び関係施設の安全点検等につきまして、通知を行い、指示徹底を図ったところであります。なお、事故の詳細につきましては、担当課長からご報告申し上げます。
長谷川委員長	私から、「大麻体育館敷地内施設灯の倒壊による物損事故について」ご報告申し上げます。
上野委員	資料をご覧ください。
岩淵生涯学習課長	事故は、平成27年4月5日(日)午前11時40分頃、大麻中町26-17の大麻体育館敷地内で起きたものです。
長谷川委員長	発生時の状況ですが、施設灯の支柱の根元部分が腐食し、強風の煽りを受けて倒れ、飛散したガラス片により駐車中の車両に破損をさせたものであります。
上野委員	破損した車両は、体育館を利用していた恵庭市在住の女性が所有する乗用車であり、ボンネットの前の部分にキズがついたものです。
岩淵生涯学習課長	事故後の対応につきましては、4月5日の事故直後は、ガラス片を回収し、倒れた支柱の周囲をロープで囲み立入禁止にし、6日は、倒れた支柱の撤去依頼、被害車両の修理見積依頼などを行い、7日以降は、保険会社などとの調整を行いました。
長谷川委員長	本件にかかる経費につきましては、まず、倒れた支柱の撤去等の費用として36,720円、損害賠償費用は、修理費用が66,593円、代車費用は現在見積依頼中という状況であります。以上です。
上野委員	ただいま報告のありました「大麻体育館敷地内施設灯の倒壊による物損事故について」質問等がございましたらお願いします。
岩淵生涯学習課長	この件の後、施設を見て回ったと思いますが、教育部で関係している施設の中で、問題のある施設はあったのでしょうか。
長谷川委員長	生涯学習課としましては、社会教育施設、公民館や体育館の指定管理者に点検を要請しまして、その後の報告につきましては、今のところ異常がないというところです。
長谷川委員長	ただ、雪解け後には点検が必要なことから、今後も点検の強化を指定管理者にお願いしてきました。
長谷川委員長	他に何かありませんか。
	ないようであれば、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)
	続いて、3の審議事項に入ります。
	平成27年議案第18号「江別市スポーツ推進委員の委嘱について」の説明を求めます。

長谷川委員長 岩渕生涯学習課長	<p>岩渕生涯学習課長お願いします。</p> <p>議案第18号「江別市スポーツ推進委員の委嘱について」ご説明いたします。</p> <p>本件につきましては、江別市スポーツ推進委員の任期が、平成27年4月30日をもって、任期満了となりますことから委嘱を行うものです。</p> <p>スポーツ推進委員の設置につきましては、スポーツ基本法第32条第1項の規定を受けて、江別市スポーツ推進委員規則を定めているところであります。</p> <p>スポーツ推進委員には、地域のスポーツやレクリエーション活動における実技指導や助言を行っていただくとともに、地域でのスポーツ推進のコーディネーターとしての役割も大いに期待されているところであります。</p> <p>2ページから4ページの委員名簿をご覧ください。委嘱しようとするスポーツ推進委員は、江別・野幌・大麻の各地区から合計29名でありまして、いずれもスポーツ活動に熱意をもって取り組んでいただける方で、再任が24人、新任が5人となっております。</p> <p>なお、任期は、平成27年5月1日から平成29年4月30日までとなっております。</p> <p>以上、ご審議くださいますよう、よろしくご説明いたします。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、平成27年議案第18号「江別市スポーツ推進委員の委嘱について」を承認することにご異議ありませんか。</p>
長谷川委員長	<p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p>
岩渕生涯学習課長	<p>次に、平成27年議案第19号「江別市一般会計補正予算について」の説明を求めます。</p> <p>岩渕生涯学習課長お願いします。</p> <p>議案第19号「江別市一般会計補正予算について」ご説明申し上げます。</p> <p>6月に開催されます江別市議会第2回定例会に提出を予定しております補正予算の概要につきまして、資料をご覧ください。</p>
長谷川委員長	<p>補正の内容は、10款5項、保健体育費で、事業名は「全日本9人制バレーボールクラブカップ女子選手権大会開催補助事業」でありまして、8月に野幌総合運動公園をメイン会場に開催されるバレーボール大会に対し、運営費の一部を補助するものであり、補正額は15万円であります。</p> <p>なお、この大会は、道内での開催を予定し、運営団体が会場の調整をしておりましたが、耐震工事などの関係で使用中止の施設もある中、調整に時間を要し、決定が今年2月となったため、当初予算の計上が間に合わなかったものであります。以上です。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、平成27年議案第19号「江別市一般会計補正予算について」を承認することにご異議ありませんか。</p>
長谷川委員長	<p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p>
金子学校教育課長	<p>続いて、4のその他各課所管事項に入ります。</p> <p>各課所管事項「(1) 江別市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の改選について」の説明を求めます。金子学校教育課長お願いします。</p> <p>江別市立小学校及び中学校通学区域審議会委員につきましては、現在、平成25年6月14日から平成27年6月13日までの任期となっております。この度、任期が終わることから新たな委員の委嘱につきまして、次回の定例教育委員会において、ご審議いただく予定ですので、よろしくご説明いたします。以上です。</p>
長谷川委員長	<p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>次に、「(2) 江別市教育支援委員会委員の改選について」の説明を求めます。</p>
浦田教育支援課長	<p>浦田教育支援課長お願いします。</p> <p>江別市教育支援委員会は平成25年6月1日から2年の任期で医師、市内小中学校の特別支援学級担当教員、福祉施設職員など計18名に委嘱及び任命されておりますが、平成27年5月31日で任期満了となることから、江別市教育支援委員会条例第3条第2項の規定により委員の選考事務を進め、次回の定例教育委員会に提案しますので、よろしくご説明いたします。以上です。</p>
長谷川委員長	<p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p>

長谷川委員長	(質疑なし) 次に、「(3) 江別市社会教育委員の補欠委員の委嘱について」及び「(4) 江別市スポーツ推進審議会委員の改選について」一括して説明を求めます。
岩渕生涯学習課長	岩渕生涯学習課長お願いします。 各課所管事項(3)(4)につきまして一括してご説明いたします。 まず、江別市社会教育委員につきましては、昨年委員を委嘱させていただきましたが、4月の人事異動等で4名の方が変わることとなりました。 次回教育委員会で候補者名簿を提出いたしますので、ご審議いただきますようお願いいたします。
長谷川委員長	続きまして、江別市スポーツ推進審議会委員につきましては、平成27年5月31日をもって2年の任期が満了となりますことから、次回教育委員会で候補者名簿を提出いたしますので、ご審議いただきますようお願い申し上げます。以上です。
小林郷土資料館長	本件に対する質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし) 次に、「(5) 江別市文化財保護委員会委員の補欠委員の委嘱について」の説明を求めます。 小林郷土資料館長お願いします。 江別市文化財保護委員会委員につきましては、平成26年8月1日から2年間の任期となっております。 4月の人事異動で1名の方が変わることとなりました。次回定例教育委員会で候補者名を提出いたしますので、ご審議いただきますようよろしくお願いいたします。
大村総務課長	本件に対する質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし) それでは、次に、次回教育委員会予定案件及び日程について、説明願います。 大村総務課長お願いします。 今回の教育委員会の案件でございますが、審議事項として、今ほどありました各課所管事項の各審議会委員の委嘱について、報告事項として、平成26年度学校評価の結果報告について、平成26年度財団法人江別市スポーツ振興財団の決算に関する報告についてなどを予定しております。
長谷川委員長	また、次回、定例教育委員会の日程でございますが、5月27日水曜日午後2時からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。 ただいまありましたように、回りの定例教育委員会は5月27日水曜日午後2時からということで、皆様よろしいですか。 (一同了承) 以上をもちまして、第4回定例教育委員会を終了いたします。
	(閉会)

終了 午後3時13分

署名人(委員長) 長谷川 清明

署 名 人 橋本 幸子